

北海道ガーデン街道について

これらのガーデンを特別にしているものは何か？

北海道ガーデン街道は、北海道の中央に 250km にわたって広がる個人所有の 8 つのガーデンを結んだ街道です。山間地域の活性化、農業・農村文化の紹介、そしてグリーンツーリズムの関心を高めることも目的として 2009 年に誕生しました。

ガーデン自体が、その地域の地質的構造、そして地域社会、所有者、北海道特有の社会的性質の両方を反映しています。北海道ガーデン街道は注目を集め、入場者が増え、地域へ繁栄をもたらしました。

帯広の近くのガーデン

紫竹ガーデン、真鍋庭園、十勝ヒルズ、帯広近郊にある六花の森。帯広は北海道東部の十勝地方にあり、この地方は西部まで農村地帯が広がっています。十勝地方の西部には十勝千年の森があります。とかち帯広空港からこの 5 つのガーデンへ車でまわるのが最適なルートです。

旭川の近くのガーデン

ガーデンは他に上野ファーム、大雪 森のガーデン、風のガーデンがあります。この 3 つは北海道第 2 の都市、旭川市と旭川空港の近くにあり、旭川は、北海道の商工業・農業拠点の大半を担っています。さらに、日本最大の国立公園である大雪山も近くにあり、その山は、冬の 5 か月間、山脈の長い山頂を覆う深さ数メートルの雪にちなんで名付けられました。多くの来園者は夏に訪れます。夏は、山頂までの厳しい道を安全に登ることのできる唯一のシーズンだからです。

上野ファームは、旭川空港にも旭川市にも最も近い場所にあり、大雪 森のガーデンはさらに東にあり、北海道の名峰の麓に広がっています。風のガーデンは、どちらの空港からも最も遠く、旭川と十勝の間の山の中にあります。富良野地方はスキー、スキージャンプなどのウィンタースポーツで知られています。北海道の中でこの地方は自然のアドベンチャーパークです。

北海道ガーデンというコンセプト

8 つのガーデンはすべて、毎年近隣の山の斜面から流れる雪解け水により、混じり気のないきれいな水が無限に供給されることで肥沃な大地が保たれています。さらに、この水は必要なミネラルと他の栄養素を牧草地、平原、山の下に農地に運びます。

これらのガーデンは「北海道ガーデン」というアイデンティティを強く反映しています。これは上野ファームの若き女性リーダー上野砂由紀氏が考えたものです。北海道のガーデンは北海道独自の地質、気候、文化を反映しているため、一般的な日本庭園と人々がみなすようなものとは異なると上野氏は考えました。また、自身のガーデンと紫竹昭葉氏が作った花のワンダーランド、さらに広大な自然が広がる十勝千年の森、このすべては互いに遠く離れているにも関わらず、繋がりが

ある、と上野氏は強調します。

際立ち

（ガーデン）街道の 8 ガーデンが地質的にネットワークを通じて繋がっているとはいえ、さまざまな面で違いがあります。上野ファームと十勝ヒルズはどちらもイギリス式カントリーガーデンを基にしていますが、それぞれ異なる進化をしています。上野ファームはかつて棚田のあるコメ農家であったし、十勝ヒルズは農産物商社です。

同じように、紫竹ガーデンと六花の森はどちらも原野に作られましたが、前者は庭づくりのパイオニアが作った非常にプライベートなガーデンで、後者は基本的に生きたアートの展示とギャラリーです。

大雪 森のガーデンと風のガーデンは大きな山々の麓の奥地にあります。前者は植物、動物、人間が楽しめる多種多様な環境を提供しており、後者は当初テレビドラマのセットとして作られましたが、巨大なマウンテンリゾートの一部でもあります。真鍋庭園は、異なる気候から多様な植物を育てる方法を研究し、見せてくれる開かれた場です。十勝千年の森は、1,000 年先まで自然が繁栄するようにという希望の中設計された、生態系の融合です。

道に沿って

北海道ガーデン街道沿いには、他にも多くの名所や楽しめるものがあります。温泉、珍しい地質現象、滝、甘いメロン、郷土料理などもあります。厳しい冬は高所からではなく、北部地域とシベリアと北極に近い地域から来ます。どこに行っても日々のごちそうは農場、畜産、狩猟、漁業の力でできています。北海道ガーデン街道は、ガーデン愛好家にもグルメ愛好家にも最高の旅行先です。

8 つのガーデンすべてに行くべき理由とその周辺にある名所について知るには、こちらのリンク [\[「北海道ガーデン街道をたどれ」ページへのリンク\]](#) をクリックしてください。